

Ⅱ 震災からの主な経過 ～ 3年間の歩み～



人口5490人 世帯数1989世帯 (平成23年3月11日時点の住民基本台帳)

平成23年 3月11日(金)

- 14:46 ● 三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0 震度6弱の地震発生(2分程度の激しい横揺れ)
 - 自家発電機が稼働しテレビから情報を得る
- 14:49 ● 太平洋沿岸に大津波警報発令
- 14:50 ● 防災行政無線により避難広報
- 14:55 ● 災害対策本部設置(町長室)
- 15:00 ● 消防団員、町職員による広報および避難誘導
- 15:30 ● 推定9mの巨大津波襲来
 - 被害の状況:死者2人・行方不明者1人・家屋の倒壊、流失約240棟
 - 町内のライフライン(上下水道、道路、電気、電話)ほぼ壊滅状態
 - 老人福祉センター・公民館・各地区集会所などを避難所として準備



津波が久保地区を襲う
(双葉地方広域市町村圏組合消防本部提供)

平成23年 3月12日(土)

- 7:45 ● 福島第二原発から10km圏内に屋内退避指示発令
- 9:00~ ● 消防団による津波の行方不明者捜索(1人の遺体収容)
- 15:36 ● 福島第一原子力発電所1号機

で爆発音、白煙が発生

- 17:39 ● 福島第二原子力発電所から10km圏内避難指示(国からの情報が受信できず)
- 18:25 ● 福島第一原子力発電所から20km圏内に避難指示(国からの情報が受信できず)
 - 防災行政無線で町外への自主避難を呼びかける
 - 役場庁舎の福島県総合防災システムが機能せず
 - 役場庁舎内停電(外部からの情報が入手できない状態となる)
- 21:00 ● 東京電力福島第二原子力発電所の社員3人が来町し第二原発の状況を町長へ報告
 - 警察から楢葉町の道の駅に避難した人の受け入れの要請を受ける

平成23年 3月13日(日)

- 9:00~ ● 消防団による津波の行方不明者捜索(1人の遺体収容)



消防団・自衛隊による行方不明者捜索

- 11:00 ● 全町民に避難指示を発令(町長)
 - 防災行政無線にて町外への避難を呼びかける
- 14:00 ● 交通手段のない町民に対し児童館・保健センターへ集合を周知

- 消防団などによる原子力災害避難誘導(家庭訪問)

19:40 ● 三郷市より食料、毛布などの支援物資、給水車の支援を受ける

21:00 ● 南会津振興局よりおにぎり(1400個)の支援



食料、毛布などの支援物資を運んだ三郷市の車両

平成23年 3月14日(月)

- 11:01 ● 福島第一原子力発電所3号水素爆発
- 小野町避難所へ町バスなどで町民を搬送(第1便13:15 第2便15:00)

平成23年 3月15日(火)

- 6:14 ● 福島第一原子力発電所2号機爆発音(圧力制御室が破損)
- 福島第一原子力発電所4号機で爆発音(建屋の壁が大破)
- 9:38 ● 福島第一原子力発電所4号機で出火
- 11:00 ● 福島第一原子力発電所から20~30km圏内屋内退避指示発令
- 役場機能および災害対策本部を小野町町民体育館へ移転
 - 消防団本団常駐
 - 小野町・平田村・石川町・浅川町・福島高専・三郷市の避難所を町避難所として指定
 - 小野町避難所/本部対策班
 - 総務班 救護班 物資班 調理班を編成する

平成23年 3月17日(木)

- 福島工業高等専門学校から三郷市瑞沼市民センターへ避難を希望した町民を移送(三郷市で準備したバス6台)

平成23年 3月20日(日)

- 特別養護老人ホーム「花ぶさ苑」入所者37人全員を宇都宮市へ搬送

平成23年 3月21日(月)

- 高野病院の一部の入院患者60人を茨城県へ搬送

平成23年 4月9日(土)

- 避難所から旅館、ホテルなどへの二次避難開始

平成23年 4月11日(月)

- 17:16 ● 浜通りで震度6弱の余震(スパリゾートハワイアンズなど被害甚大/津波の発生なし)

平成23年 4月15日(金)

- 役場機能を小野町からいわき市常磐地区(湯本支所を設置)へ移転



4月15日から湯本支所を開設

平成23年 4月22日(金)

- 広野町全域が緊急時避難準備区域に指定される

平成23年 5月1日(日)

- 賃貸住宅入居への補助制度開始

平成23年 5月2日(月)

- 小野町町民体育館(避難所)撤退



多くの町民が避難した小野町体育館

平成23年 6月10日(金)

- 富岡消防署榎葉分署再開(長畑、二本柵集会所を待機所)

平成23年 6月30日(木)

- 中央台高久地区応急仮設住宅への入居開始
- ライフライン(上下水道、道路、電気、電話)仮復旧する

平成23年 7月28日(木)

- 静岡県伊東市と広野町における「災害時等の相互応援に関する協定書」調印式

平成23年 8月18日(木)

- 常磐迎地区応急仮設住宅への入居開始



8月18日から入居開始した常磐迎応急仮設住宅

平成23年 8月25日(木)

- 広野小学校をいわき市立中央台南小学校で再開

平成23年 9月30日(金)

- 緊急時避難準備区域解除

平成23年 10月1日(土)

- 建設課内に除染対策グループを設置
- 広野中学校をいわき市立湯本第二中学校で再開

平成23年 10月10日(月)

- JR常磐線久ノ浜駅～広野駅間運転再開

平成23年 10月12日(水)

- 広野町内文教施設除染作業委託業務開始

平成23年 10月17日(月)

- 四倉鬼越地区および工業団地応急仮設住宅への入居開始

平成23年 10月27日(木)

- 緊急時避難準備区域解除に伴う住民説明会(いわき市立中央台東小学校体育館)



住民説明会の様子

平成23年 10月31日(月)

- 二次避難所(旅館・ホテル)完全閉鎖

平成23年 11月24日(木)

- 除染モデル実証事業開始

平成23年 12月1日(木)

- 除染対策グループが広野町での業務開始
- 産業グループ・建設グループが順次移転開始

平成24年 2月16日(木)

- 一般住宅などの広野町除染作業委託業務開始

平成24年 3月1日(木)

- 役場機能をいわき市常磐地区(湯本支所)から本来の庁舎へ戻す
- 湯本支所を出張所とする

平成24年 3月25日(日)

- 避難指示解除に向けた住民懇談会(広野中学校体育館)

平成24年 3月31日(土)

- 町長発令の避難指示解除
- 町民帰還に向けた町長メッセージ(第1弾)

平成24年 4月1日(日)

- 建設課内に復興建設グループを設置

平成24年 5月28日(月)

- 町内の応急仮設住宅への入居開始(2か所、46戸中13世帯)

平成24年 6月1日(金)

- 町民バス運行再開

平成24年 6月2日(土)

- 学校再開に関する保護者説明会(広野町役場湯本出張所)

平成24年 6月26日(火)

- 福島第一原子力発電所視察(町幹部、町議会)

平成24年 7月11日(水)

- 浄化センター再稼働

平成24年 7月21日(土)

- 第1回ひろの復興市

平成24年 7月31日(火)

- 湯本出張所閉鎖



平成24年 8月27日(月)

- 広野小・中学校、幼稚園、保育所が町内で再開

平成24年 10月27日(土)

- 帰還に向けた住民説明会(広野町中央体育館)

平成24年 11月1日(木)

- 農地除染を開始

平成24年 11月9日(金)

- 災害公営住宅建設事業に着工

平成24年 11月26日(月)

- 広野町復興整備協議会を設立

平成25年 1月1日(火)

- 東京電力(株)福島復興本社がヴィレッジで設立

平成25年 1月20日(日)

- 減容化処理施設建設説明会

平成25年 5月18日(土)

- 広野小学校運動会を震災後初めて町内で開催

平成25年 7月1日(月)

- 震災後初めての広野小学校、広野中学校プール開き
- 広野町保育所で給食再開

平成25年 8月11日(日)

- 広野町サマーフェスティバル2013 (サマーフェスティバルの復活)

平成25年 8月24日(土)

- 保健センターでホールボディカウンターによる内部被ばく検査を実施

平成25年 9月25日(水)

- コメの全量全袋検査を開始

平成25年 9月26日(木)

- 広野町災害公営住宅建築工事起工

平成25年 10月19日(土)

- ふたばワールド2013が町内で開催(ふたばワールドが14年ぶりに復活)

平成25年 10月25日(金)

- 総理官邸で広野産米をPR

平成25年 11月4日(月)

- ニツ沼総合公園パークゴルフ場を再開

平成25年 11月27日(水)

- 3年ぶり収穫のコメ全量全袋検査が完了(収穫した1万8619袋、約558トンが全て基準値内)
- 宮内庁に贈呈した広野産米が皇居に届けられ、天皇皇后両陛下が召し上がったと報道

平成25年 12月3日(火)

- 福島県知事が県議会で中高一貫校を広野町に設置することを表明

平成25年 12月17日(火)

- 震災後初めてみかんの丘で町民対象のみかん狩りを実施

平成26年 1月19日(日)

- 広野町消防団、婦人消防隊の出初め式と震災後初のパレードを実施

平成26年 1月30日(木)

- 広野小学校5・6年生が常磐自動車道広野IC～常磐富岡IC間再開通祈念植樹を実施

平成26年 2月20日(木)

- 災害・除染廃棄物仮置き場と中高一貫校に関する住民説明会(28日まで6回)

平成26年 3月11日(火)

- 東日本大震災追悼式